

平成 20 年度第 3 回サイバー・キャンパス・コンソーシアム電気通信工学グループ運営委員会議事概要

I. 日 時： 平成 20 年 10 月 23 日（木） 18：30～20：50

II. 場 所： 私立大学情報教育協会 事務局 会議室

III. 出席者： 穴吹委員、岳委員、越後委員
井端事務局長、森下、恩田

IV. 議事概要

1. 電気通信工学教育の学士力について

私立大学情報教育協会に登録の電気通信分野の私立大学教員（サイバーFD 研究員）への意見照査の結果を報告後、結果を基にして「電気通信工学教育の学士力」の文案を検討した。

いただいた意見については、項目ごとに委員で検討し、取り入れる意見は取り入れるように検討した。

また、分野全体にまたがる共通部分に関しては除く方針で作業を進め、内容、言葉使いなど種々の意見交換を行った結果、資料（5）の案を纏めた。

2. 今後の活動について

事務局で、24 の委員会の検討案を取りまとめ、11月に文部科学省に報告する予定。

その後、共通の部分も含めた詳細な学士力の検討、コアカリ、到達度等の検討を次年度にかけて実施の予定。

3. 次回の予定

年度内（来年1月～3月）の予定。

4. 電気通信工学教育の学士力

電気通信工学の学士力

2008 年 10 月 23 日

CCC 電気通信工学グループ運営委員会

1. 知識・理解

電気工学、通信工学、電子工学の基礎知識を持ち、エネルギー、ネットワーク、コンピュータ、材料・デバイス、計測・制御等の関連技術の基礎を理解できる。

2. 汎用的技能

電気通信関連分野における種々の問題解決に際して、設計、シミュレーション、プログラミング、試作などの基礎技術を身に付けている。

3. 態度・志向性

社会の基盤である電気通信技術の重要性を理解する中で、自然環境や社会環境との関わりを常に認識し、安全・安心に配慮することができる。

4. 統合的な学習経験と創造的思考力

電気通信技術者として、社会のニーズに応える最新技術の動向を把握し、積極的に取り入れ、活用できる。